

5月14日  
弟子屈町指定名木を巡る  
春の名木ツアーで魅力再認識



萩原さんのガイドを参考に  
町と根釧西部森林管理署の共催で5月14日に行われた「春の名木ツアー」に、町内外の14人が参加し、奥春別地区のエゾヤマザクラなど4本のほか、和琴半島のエンレイソウ（3種類）や硫黄山山麓のイソツツジなどを観察しました。

今年から、てしかが自然学校代表で、北海道認定木育マイスターの萩原寛暢さんがガイドを務め、名木だけでなくちよど見ごろを迎えた草花の解説も交え、皆さんに楽しんでいただき、好評を博しました。

5月13日  
「絵本の会おはなしはらっば」が25周年  
はらっばまつりを開催



「劇団風の子北海道」公演  
はらっばまつりが5月13日、町公民館で開催されました。毎週土曜日に開催されている「絵本の会おはなしはらっば」（笹島久美会長）の皆さんによる読み聞かせが25周年を迎えたことを記念して開催。約100人が参加し、しかけ絵本や読み聞かせ、工作、紙芝居などの部屋を回る絵本スタンプラリーのほか、「劇団風の子北海道」による公演があり、子どもたちは楽しいひとときを過ごしました。

カメラスケッチ  
広報マンが行く!!



このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐ反映させます。お気軽にご連絡ください。



まちづくり政策課広報統計係 ☎482-2913(課直通)

4月27日  
警察官の仕事体験  
弟子屈小学校児童が社会科見学



さすまたを使って取り押さえ  
弟子屈警察署で4月27日に行われた体験型社会科見学会に、弟子屈小学校（佐野哲哉校長）4年生40人が参加しました。弟子屈警察署では、警察官の仕事を理解してもらう目的で、小学校の社会科見学会に合わせ見学会を実施。児童はパトカーの体験乗車や手信号による交通整理、指紋の採取などを体験しました。また、さすまたを使っての不審者の取り押さえや防護服の着用、機動隊の大楯を構える体験では「やってみよう」と興味を持ち、進んで取り組む様子が見られました。

5月18日  
摩周エリアの魅力を紹介  
武四郎講座第1回を開講



講演を行う斎藤さん  
屈斜路湖周辺の歴史・文化の収集、発信などを行う地域活性化団体・チームくっしゅろ主催武四郎講座第1回が5月18日、町公民館で行われました。講演では斎藤さんが159年前に弟子屈地域を訪れ、地理調査を行った松浦武四郎の文献を紐解きながら、摩周エリアの歴史と魅力を紹介。約30人が参加し、講演に耳を傾けました。また、ネイチャーフォトグラファーの片瀬志誠さん、トレッキングガイドの藤原仁さん、国立公園管理官の萱島拓郎さんらの講演もあり、笑いも交えた和やかな雰囲気で行われました。

5月17日  
飲食店開業など3つのプロジェクトチームを始動  
南弟子屈地域活性化協議会の総会を開催



人が集まり集う町を目指して  
南弟子屈の旧昭栄小学校で5月17日、平成29年度南弟子屈地域活性化協議会（小澤重則会長）定期総会が行われました。同協議会は南弟子屈自治会と同自治会婦人部、弟子屈町商工会、摩周湖農業協同組合、町で構成。米實の徳永町長、八幡町議会議長を含め20人が出席。総会では小澤会長が議長を務め、平成28年度の事業報告。プロジェクトチームの活動を集約するワーキンググループの開催や研修の受講などが盛り込まれた平成29年度事業計画案と収支予算案が提案され、どちらも承認されました。

4月29日  
優秀な牛を表彰  
第13回イースタンスプリングショウを開催



入賞牛を囲んで  
本町と標茶町のホルスタイン改良同志会による「第13回イースタンスプリングショウ」が4月29日、鋸別家畜共進会場で開催されました。両町14戸の酪農家から、選りすぐりの乳牛47頭が出陣され、北広島市の酪農家・岩田政彦さんによる厳正な審査の下、各部門のチャンピオンが決定しました。▷ジュニアチャンピオン「ブライトランドアマンライザET」（弟子屈・坪井泰憲さん）▷リザーブ・ジュニアチャンピオン「インレット MS マツカチエン エイミー」（弟子屈・江上和彦さん）▷シニアチャンピオン「フラインデール アットアウト メルヘン」（標茶・榎ファインデール）▷リザーブ・シニアチャンピオン「ゴールド マツカチエン ブロード」（標茶・榎エフシーエス）

4月28日  
弟子屈生活をPRし人口増につなげたい  
移住アドバイザー会議を開催



移住促進に向けて意見交換  
移住アドバイザー会議が4月28日、役場で行われました。会議には、渥美アイトマールさん、河村晃さん、萩原寛暢さんが出席し、それぞれ登録証が交付されました。移住アドバイザーは、本町への移住を検討されている方に対し、移住後の生活などの相談対応を行うもので、実際に本町に移住された方が登録されています。会議では昨年度の活動報告の後、新年度の事業内容の検討と意見交換を実施。アドバイザーの皆さんからは、移住者ならではの目線で課題や改善点などさまざまな意見が出されました。

5月18日  
インドネシアの伝統芸能を子どもたちに贈る  
弟子屈ロータリークラブ60周年記念事業



インドネシアの影絵芝居  
弟子屈ロータリークラブ（鈴木幸栄会長）主催のインドネシアの影絵芝居が5月18日、弟子屈小学校で開催されました。同クラブ60周年を記念して行われたもので、同クラブと密接な関係があるインドネシアの影絵芝居が、伝統楽器の演奏とともに披露されました。町内の幼稚園、保育園の園児や同校の児童などが集まり、独特のリズムの音楽や、ユネスコの無形文化財にも指定されている影絵芝居を鑑賞しました。20日には、屈斜路プリンスホテルで記念式典が開催されました。また、同クラブ主催の第7回弟子屈賞の授賞式も行われ、町内在住の写真家・藤泰人さんが受賞しました。

5月18日  
JR釧網線の存続を目指して  
関係団体との意見交換会を開催



あいさつする水会網走市長  
釧路圏摩周観光文化センターで5月18日、オホーツク圏活性化期成会釧網本線部会と釧路地方総合開発促進期成会との意見交換会が開催されました。JR釧網線存続に向けた両地域の活発な意見交換が行われました。今後連携して意見交換を重ねる方針を確認しました。意見交換会のあと、同会場で釧路地方総合開発促進期成会の第2回特別委員会が開催されJR北海道からの関係者を迎え説明を聞きました。

5月12日  
集落が抱える課題とその取り組みを協議  
北海道集落問題研究会（道東地区）を開催



集落活性化へ向け意見交換  
人口減少や高齢化、集落機能の低下などについて考える北海道集落問題研究会（北海道主催）が5月12日、旧昭栄小学校で行われました。研究会には、集落問題研究会委員、上美生ほしぞらプラン協議会（十勝茅室町）、釧路町、中標津町の担当者らが参加。本町からは役場まちづくり政策課と南弟子屈地域活性化協議会が参加しました。南弟子屈地域活性化協議会からは、南弟子屈地域での取り組みが紹介され、意見交換が行われました。

5月3～5月7日  
大好評「こどもの日企画」  
川湯エコミュージアムセンターで開催



キャラクター探しに挑戦  
川湯エコミュージアムセンターでゴールデンウィークの特別企画として5月3日～7日「おともだちを探そう」が開催されました。館内に隠れている動物やキャラクターなどに付けられた番号を見つけたらプレゼントがもらえるという企画で、参加希望者がカウンターの前に並ぶほどの大盛況。親子で楽しんでいる姿や、兄弟で協力しながら頑張っている様子が見られました。終了後は、達成感に満ちた表情でプレゼントをもらい「楽しかった」「また来ようね」などの声が聞かれました。